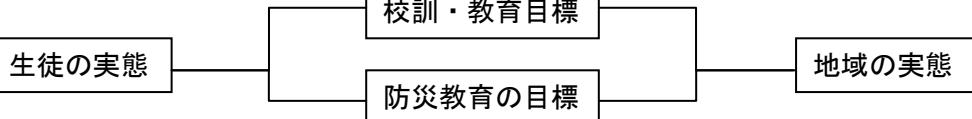


# 平成 24 年度 防災教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

ESD③



- ・災害の自然的・社会的要因を知り、今後の学校、地域の防災体制を考え、持続可能な社会の実現に貢献する意欲を高める。ESDの柱③
- ・過去の災害や他地域の災害例から危険を理解し、災害への日常的な備えや的確な避難行動ができるようにする。
- ・災害発生時に自ら危険を予測し回避するための主体的に行動する態度を育成し、災害から生命を守るのに必要な能力や資質の向上を図る。
- ・人間としての在り方・生き方を考え、命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等（共助・公助の精神）の大切さについて理解を深め、被災時には地域の力になろうとする実践力を高める。

## 推進の視点

防災体制の整備充実	新たな防災教育の推進	指導力・実践力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携、防災マップの周知</li> <li>・災害時の危機管理能力の向上と避難所支援マニュアルの整備（学校運営委員会）</li> <li>・日常の安全管理と避難経路の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通じた防災教育の推進</li> <li>・副読本「3・11を忘れない」「明日に生きる」「放射線について考える」の活用</li> <li>・長期的な心のケア（相談機能）の充実</li> <li>・効果的な安全指導と防災訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上、スタンダードパイプ等の研修</li> <li>・心のケア等の校内研修会の充実</li> <li>・学校協議会、地域合同防災訓練の実施</li> <li>・町会防災訓練、被災地との交流（試行）</li> </ul>

## 各学年の目標

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としてかけがえのない命を与えていていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考える。</li> <li>・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。</li> <li>・自然災害について知り、地域の状況をとらえることによって災害の備えについて考え、防災意識の向上を図るとともに、避難所としての学校の役割を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非日常的な生活を強いられた仲間の心情や被災児童生徒の悲しみや苦しみの深さにふれることで、命の重さや尊さについて考える。</li> <li>・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的にかかわろうとする態度を養う。</li> <li>・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の被害への備えなどを調べ、地域における防災体制を考える。</li> <li>・地域の安否確認、救出、救護、消火への協力を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしさや思いやりの心を持ちながら生きていくことの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。</li> <li>・地震のメカニズムを理解し、安全で快適な町づくりをするために必要な環境整備について関心をもつ。</li> <li>・災害における学校が果たす役割について理解し、地域防災の担い手として、学校と地域の人々とのつながりを考える。</li> </ul>

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的思考力・判断力の育成</li> <li>・災害のメカニズム、地域特性、地域での支え合い、防災体制等の知識・技能</li> <li>・防災意識の高揚</li> <li>・ボランティア精神の育成</li> <li>・応急処置法、AED の体得</li> <li>・非常時の食、ライフライン</li> <li>・ESD、防災用語、防災作文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重の精神の育成</li> <li>・差別意識の解消、異文化理解、共生等、人権尊重の精神の育成</li> <li>・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心情の育成</li> <li>・仲間を大切にし、かかわり、つながろうとする心情の涵養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や行動等実践的能力の育成</li> <li>・互いに協力し合い、自ら困難を克服する態度や実践的能力の育成</li> <li>・仲間とのかかわり、つながり</li> <li>・自主的な活動やボランティア活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神及び実践的態度の育成</li> <li>・地域の災害の歴史を学び、今後の防災体制について考える態度の育成</li> <li>・防災意識の高揚（家庭における防災の話し合いの啓発）</li> <li>・ボランティア活動の実践</li> <li>・ESD の取り組み</li> </ul>